

ニュースウィーク日本版  
**Newsweek**<sup>®</sup>

ニュースウィーク日本版 2024年3月12日発売号  
特集タイトル: 『TSMCのヒミツ』 (仮)

**お問合せ先**

株式会社CCCメディアハウス メディア・プロモーション局 広告部

〒141-8205 東京都品川区上大崎3-1-1 目黒セントラルスクエア

Ver. 1.1  
2023/12/20

# 「ニューズウィーク日本版」と「半導体・テクノロジー」

ニューズウィーク日本版は、これまで世界が注目するテクノロジー・デジタル・半導体の産業のトレンドについて多く取り上げて参りました。昨今では、世界的に枯渇している半導体の供給不足や半導体業界を取り巻く世界的規模の熾烈な競争など、日本国内の事情だけでなく世界の視点から鋭く切り込んだ記事を多く取り上げて参りました。かつては半導体産業で世界的にリードしていた日本。多くの読者・ユーザーにとって身近で大変興味を引くテーマです。この度、弊社株式会社CCCメディアハウスが台湾の半導体メーカー『TSMC 世界を動かすヒミツ』の書籍を2月下旬に発行することに伴い、ニューズウィーク日本版でも、2024年3月12日発売号で『TSMCのヒミツ』（仮）のカバー特集を展開致します。同号で半導体関連の広告主様の商材・サービスを紹介し、よりエンゲージメントの高い読者・ユーザーに訴求できればと思っております。是非ご検討の程、宜しくお願い申し上げます。

## 本誌カバー特集



## WEBサイト



<https://www.newsweekjapan.jp/stories/technology/>



## TSMC 世界を動かすヒミツ

2024年2月末  
発売予定

定価：本体2,800円（税別）  
464ページ（仮）

台湾で異例のベストセラー！ 世界トップの半導体ファウンドリーの強さの秘密がわかる

熊本工場の本格始動に向けて注目が集まるTSMC。30年以上にわたりTSMCの取材を続け、創業者のモリス・チャンのインタビュー実績もある台湾人ジャーナリストが、秘密主義の企業のベールを剥がす。なぜ小国台湾の半導体ビジネスは強いのか？  
なぜTSMCはトップになったのか？

### 【目次】

1. TSMCのはじまりと戦略  
社名のヒミツ/台湾半導体はじまりのヒミツ/ファウンドリーのヒミツ/第3位UMCのヒミツ/サムスン対TSMCのヒミツ/インテル対TSMCのヒミツ 他
2. TSMCの経営とマネジメント  
エンジニア文化のヒミツ/モリス・チャンの影響力のヒミツ/会議のヒミツ/価格以外で勝ちにくいヒミツ/秘密主義のヒミツ/株主総会の前のステーキのヒミツ 他
3. TSMCの文化とDNA  
プロフェッショナリズムのヒミツ/台湾の米国企業のヒミツ/「下請け」としての哲学のヒミツ/ライバル心のヒミツ/株式の社員分配制度のヒミツ/実力主義のヒミツ 他
4. TSMCの研究開発  
不眠不休部隊のヒミツ/顧客データベースという宝のヒミツ/2013年IBMに勝ったヒミツ/研究開発6勇士のヒミツ/「技術委員会」のヒミツ/コロナ禍の再構築のヒミツ 他
5. 半導体戦争：台湾、そして日本  
対中制裁は米国復活にならないヒミツ/台湾から見る日本のヒミツ/日台共同戦線のヒミツ/米中半導体大作戦のヒミツ/台湾半導体は世界一なのか？ 他

### 【著者】

林宏文（リン・ホンウェン）：経済ジャーナリスト

《今周刊》副編集長や《経済日報》技術担当者として、経済記者としてテクノロジー、バイオテクノロジー分野を専門に取材。  
『患普人才學（ヒューレッド・パッカートの才覚）』『商業大鱈 SAMSUNG（ビジネスのクロコダイル：サムスン）』などの著書がある。

### 【監修者】

野嶋剛（のじま・つよし）：ジャーナリスト / 大東文化大学 社会学部教授  
朝日新聞シンガポール支局長、政治部、台北支局長、AERA編集部を経て独立。『台湾の本音』（光文社新書）、『新中国論』（平凡社新書）  
『蒋介石を救った帝国軍人』（ちくま文庫）など著書多数

# 特集概要：『TSMCのヒミツ』（仮）（2024年3月12日発売号）

弊社が2月下旬に新刊『TSMC 世界を動かすヒミツ』を発行することに伴い、  
ニュースウィーク日本版3月12日発売号でも、『TSMCのヒミツ』をカバー特集として取り上げて参ります。

これまで本誌でも『TSMC』を度々取り上げてきたこともあり、読者・ユーザーにとっても  
親和性の高いトピックになります。

同号では、いち台湾企業にとどまらず、いまや世界経済・国際政治のキープレーヤーになった  
台湾半導体ファウンドリTSMCの実力の「ヒミツ」を、新刊の内容を一部抜粋しながら、  
30年以上取材してきた台湾人記者、林宏文（リン・ホンウェン）が解説するといった内容になります。

※ 編集内容は変更になる可能性があります。

# 本企画特別広告パッケージのご案内 - 展開フレーム

本企画では、本誌編集タイアップとWEBタイアップの組み合わせパッケージについて、特別料金でご案内致します。

半導体機関の広告主様には、本誌の特集と連動した内容で記事を作成致します。本誌のタイアップ記事をWEBに転載するだけでなく、10,000PVを保証するお得なメニューになります。是非ともご検討の程、宜しくお願い申し上げます。

## 本誌での展開

3月12日発売号

資産運用特集号



編集ページ



特集概要：『TSMCのヒミツ』（仮）（2024年3月12日発売号）

### 特集内容と連動した編集タイアップの展開

広告主様の商材・サービスを紹介し、よりエンゲージメントの高い読者・ユーザーに訴求。

タイアップ記事  
4C2PTU

WEB転載

## WEBでの展開

3月12日公開



誘導

SNS投稿



各1回

誘導

保証PV：10,000PV



※4C2P以上での展開をお望みの場合は個別にご相談ください。

※著名人起用、遠方撮影などの場合には、別途制作費をお見積りいたします。

※申込締切：1月12日（金）

# 本企画特別広告パッケージのご案内 - 料金のご説明

本誌編集タイアップを実施し、同記事をWEBへ転載致します。また、WEBタイアップでは、10,000PVを保証致します。  
通常【G3,900,000円（媒体費）+ N650,000円（制作費）】相当のメニューを、N2,500,000円にてご案内致します。  
是非ともご検討の程、宜しくお願い申し上げます。

**本誌での展開**

**3月12日発売号**

**資産運用特集号**





**タイアップ記事  
4C2PTU**

**WEB転載**

■スペース：4C2Pタイアップ  
 ■料金：  
 ・掲載料：G2,400,000円  
 ・制作費：N600,000円

**WEBでの展開**

**3月12日公開**



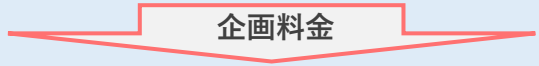
**誘導**





**SNS投稿**  
  
 各1回  
 ■メニュー名：  
**Tie up ネイティブニュースプラン  
 (トライアルプラン)**  
 ■料金：  
 ・G1,500,000円  
 ・取材費：N50,000円

**通常総額：本誌4C2Pタイアップ+WEBタイアップ**  
**⇒【G3,900,000円（媒体費）+ N650,000円（制作費）】**  
**相当のパッケージ**

  
**企画料金**

**実施料金: N2,500,000円**

# 本企画特別広告パッケージ- 進行スケジュール

本メニューを実施する場合、以下の様なスケジュールを想定しています。

**タイアップ申込締切： 1月12日（金）**

2024/1/9	火	
2024/1/10	水	
2024/1/11	木	↑ お申込み締切  オリエン候補日： 1/9（月）～1/19（金）ごろ  ↓
2024/1/12	金	
2024/1/13	土	
2024/1/14	日	
2024/1/15	月	
2024/1/16	火	
2024/1/17	水	
2024/1/18	木	
2024/1/19	金	
2024/1/20	土	
2024/1/21	日	
2024/1/22	月	ラフ構成案・質問案 提出
2024/1/23	火	
2024/1/24	水	ラフ構成案・質問案 御戻し
2024/1/25	木	↑ 取材候補日： 1/25（木）～2/2（金）ごろ  ↓
2024/1/26	金	
2024/1/27	土	
2024/1/28	日	
2024/1/29	月	
2024/1/30	火	
2024/1/31	水	
2024/2/1	木	
2024/2/2	金	

2024/2/3	土	
2024/2/4	日	
2024/2/5	月	
2024/2/6	火	
2024/2/7	水	
2024/2/8	木	
2024/2/9	金	
2024/2/10	土	
2024/2/11	日	
2024/2/12	月	
2024/2/13	火	
2024/2/14	水	初稿PDF提出
2024/2/15	木	
2024/2/16	金	初稿PDFお戻し
2024/2/17	土	
2024/2/18	日	
2024/2/19	月	
2024/2/20	火	再校正PDF提出
2024/2/21	水	
2024/2/22	木	再校PDFお戻し→校了
2024/2/23	金	
2024/2/24	土	
2024/2/25	日	
2024/2/26	月	
2024/2/27	火	
2024/2/28	水	
2024/2/29	木	
2024/3/1	金	
2024/3/2	土	
2024/3/3	日	

2024/3/4	月	
2024/3/5	火	
2024/3/6	水	
2024/3/7	木	
2024/3/8	金	
2024/3/9	土	
2024/3/10	日	
2024/3/11	月	
2024/3/12	火	本誌発売

※ ニュースウィーク日本版のタイアップ進行では、色校正はお出ししておりませんので、予めご了承ください。

# Option – Youtube動画

ニュースウィーク日本版（WEB版）のデジタル編集長と、広告主様のご担当者様との対談を動画にて展開致します。  
対談の内容や別途取材させて頂いた内容を記事化し、掲載致します（タイアップ記事は、10,000PVを保証致します）。

## Option

### <実施概要>

- 媒体：
  - ・ニュースウィーク日本版 WEB版
- WEB公開日：応相談
- 二次使用： 自社WEBサイトに掲載頂けます。
  - ※期限は、掲載日から6カ月間。
- 料金： G3,000,000円（税別）
- 備考：
  - ・広告として掲載致します。PR表記有。
  - ・ニュースウィーク日本版のSNSアカウントからも記事の誘導を行います。
  - ・取材は現地orオンラインにて行います。
    - ※首都圏以外の取材・撮影の場合は、交通費・宿泊費を別途頂戴致します。
  - ・WEB版記事は、10,000PV保証致します。



ニュースウィーク日本版編集長との対談動画を埋め込みます。  
(動画尺：5~10分程度)

### タイアップ記事



10,000PV保証

【補足】  
WEB記事は、P4に記載されているA~Dプランのタイアップ記事の1つを活用致します。

誘導

SNS投稿

各1回

料金：G3,000,000円（税別）



# WEBタイアップ-エンゲージメント強化プラン

こちらのメニューは2枠までのご案内になります。  
※決定優先でのご案内。



本誌3/12発売号では、『TSMCのヒミツ』の特集が組まれるため、WEB上でも半導体関連の記事が複数掲載される予定です。WEBサイト内で、「半導体」の関連記事を集めた「特集ページ」を作成し、また、3/12発売号の本誌のスピノフ記事の文末に、タイアップの誘導枠を設けます。この施策を通してエンゲージメントの高いユーザーに、広告主の商品・サービスをリーチさせることが期待できます。

## 編集コンテンツ

本誌の発売後に、ニュースウィーク日本版のWEBサイト上に本誌で紹介された資産運用関連のスピノフ記事が多くアップされます。

### 本誌3/12発売号



本誌  
編集記事

WEB用にスピノフ記事作成



スピノフ  
編集記事

格納

編集スピノフ記事は、「半導体」特集ページに格納されます。

## 3/12発売号の本誌スピノフ記事

### 特集ページ



## WEBタイアップ 誘導枠

### タイアップ記事



### 編集記事 (記事中)



誘導

誘導

タイアップ

SNS投稿



各1回

スピノフ記事を閲覧

投資関連の特集ページを作成。トップの位置にタイアップの誘導枠を設置します。

※申込締切：1月19日 (金)

3/12発売号の本誌スピノフ記事の文末に、タイアップ記事のリンクを付けます。

# WEBタイアップ- エンゲージメント強化プラン- 条件と料金のご説明

WEBタイアップ単体でお申込みいただいた広告主様限定で本メニューをご案内致します。  
ご案内できる枠は2枠になりますため、決定優先でのご案内になります。

## 対象となるWEBタイアップメニュー

- ・ネイティブニュースプラン（トライアルプラン）  
【料金】 G1,500,000円（N1,200,000円）
- ・ネイティブニュースプラン（誘導強化型）  
【料金】 G2,000,000円（N1,600,000円）

※詳しくは媒体資料をご参照ください。

## 誘導期間

誘導期間は、公開開始日から4週間。

## 誘導元

- ・WEB内 特集ページ内での誘導
- ・本誌スピンオフ記事内からの誘導

## 枠数

ご案内できる広告枠は、2枠になります。  
※決定優先でのご案内になるため、予めご了承ください。

# WEBタイアップ-エンゲージメント強化プラン - 進行スケジュール

本メニューを実施する場合、以下の様なスケジュールを想定しています。

※申込締切：1月19日（金）

2024/1/9	火	
2024/1/10	水	
2024/1/11	木	
2024/1/12	金	
2024/1/13	土	
2024/1/14	日	
2024/1/15	月	
2024/1/16	火	
2024/1/17	水	
2024/1/18	木	
2024/1/19	金	お申込み締切
2024/1/20	土	
2024/1/21	日	
2024/1/22	月	
2024/1/23	火	
2024/1/24	水	
2024/1/25	木	
2024/1/26	金	
2024/1/27	土	
2024/1/28	日	
2024/1/29	月	ラフ構成案・質問案 提出
2024/1/30	火	
2024/1/31	水	ラフ構成案・質問案 御戻し

オリエン候補日：  
1/9（月）～1/19（金）ごろ

2024/2/1	木	
2024/2/2	金	
2024/2/3	土	
2024/2/4	日	
2024/2/5	月	
2024/2/6	火	
2024/2/7	水	
2024/2/8	木	
2024/2/9	金	
2024/2/10	土	
2024/2/11	日	
2024/2/12	月	
2024/2/13	火	
2024/2/14	水	
2024/2/15	木	
2024/2/16	金	
2024/2/17	土	
2024/2/18	日	
2024/2/19	月	
2024/2/20	火	
2024/2/21	水	
2024/2/22	木	初稿提出
2024/2/23	金	
2024/2/24	土	
2024/2/25	日	

取材候補日：  
2/5（月）～2/16（金）ごろ

2024/2/26	月	
2024/2/27	火	初稿御戻し
2024/2/28	水	
2024/2/29	木	再校提出
2024/3/1	金	
2024/3/2	土	
2024/3/3	日	
2024/3/4	月	再校正御戻し
2024/3/5	火	
2024/3/6	水	WEBプレビュー提出
2024/3/7	木	
2024/3/8	金	WEBプレビュー御戻し→校了
2024/3/9	土	
2024/3/10	日	
2024/3/11	月	
2024/3/12	火	WEB公開

Special Advertising Section

こういった意味なのか。  
 亀澤「デジタルの進展もあり、スマホで全てを完結したい方が増えている一方、じっくり対面で相談したい方もいます。ニーズの多様化に対応するには、お客様のタッチポイント（接点）を増やすことが重要です。例えば、三菱UFJ銀行では、自宅などから利用いただけるオンライン相談や、駅やオフィスに設置されたブースでのサービスを試行し、気軽に資産運用の相談ができる環境を築いています。

また、スマホで完結できる資産形成プラットフォーム「Money Canvas」では、運用スタイルの診断サービスや幅広い金融商品の情報提供を通じて、お客様の資産形成を総合的にサポートします。従来の対面型に加え、これら非対面型のサービスを拡充し、店舗・リモート・デジタルのベストミックスの実現に取り組んでいます。

――「商品の拡充」については、具体的にどういった内容なのか。  
 亀澤「三菱UFJ銀行では来年の新NISA制度の開始に合わせて、今年12月中旬に低コストシンプルな商品性が人気の「eMAXIS S11m」シリーズをつんだNISAの商品ラインアップを追加する予定です。『いつもの銀行』としてすでに口座を持っている方も多い三菱UFJ銀行は、調査会社「D・ハニー」のNISA顧客満足度（銀行（全国系、ネット）部門）でも取引手数料や商品数、情報や実績

**各種ニーズに対応、MUFGのNISA口座**

<b>三菱UFJ銀行</b>	顧客満足度 No.1、親しみと信頼のいつもの口座
<b>三菱UFJモルガン・スタンレー証券</b>	幅広い商品ラインアップと専門家のアドバイス
<b>auカブコム証券</b>	スマホでお得にスピードティに
<b>三菱UFJ信託銀行</b>	資産運用から、相続、不動産までまとめて相談

の分りやすさ、運用のしやすさが評価され、1位をえています。初心者の方の安心しやすさを高めることができるでしょう。

MUFGでNISAを取り扱うのは、三菱UFJ信託銀行の3社があります。NISA口座を開くには、三菱UFJ信託銀行の3社があります。NISA口座で変更できるが、私はライフステージの変化によりお客様のニーズがかわった際もスムーズにMUGF内でお取り扱いをすることができます。例えば、三菱UFJ銀行でNISAへの興味があった場合には、より幅広い商品を取り扱う証券会社へ紹介し、三菱UFJモルガン・スタンレー証券では、豊富な知識を持つ金融アドバイザーが資産状況に合わせたポイントアドバイスを提案し、中長期的な

資産形成をサポートします。ネット証券会社のauカブコム証券は4社の中最も取扱商品が多く、投資信託の購入手数料は全て無料かつスマホで手軽に取引することが可能です。一方、新しい資産を次の世代に引き継ぎたい銀行がお客様の思いに寄り添います。

今後は、各社「一人ひとりの利用状況やライフイベントに合わせた個々のアドバイスを提供することで、MUGFに取引するデメリットを減らすよう顧客体験を目指します。

様々な形態の金融機関が持つグループならではのメリットだと感じているが、ほかにはどんな強みが挙げられるか。  
 亀澤「MUGFは全世界で約200の国や地域があり、約18万人の社員が働くグローバル金融グループです。世界最大級の預金・貸出残高と口座開設数に加え、これまで積み上げてきた信頼・信用をいいます。

こうした信頼・信用をいよいよものにするためには、従業員や日々の行動が大切です。MUGFでは「世界が進むチカラになる」をバネに掲げています。従業員一人ひとりが、MUGFと向き合い、どうすればお客様や未来の世代、社会にお役に立つことができるか、真剣に考え、行動に移っています。

MUGFは社会的使命として資産形成の促進に貢献します。また、長期的な人生のパートナーとして選ばれ続け



**三菱UFJフィナンシャル・グループ**

## 幅広いニーズに応える新NISAの活用提案 MUFGが果たす社会的使命

「来年から始まる新NISA制度の普及に貢献することは、金融機関の社会的使命」  
 社会の変化を鋭く捉え、顧客の資産形成に寄り添うMUFGの強みを亀澤宏規CEOが語る

日本の個人金融資産約200兆円のうち、運用数は現況。この国民の資産を野から投資へとシフトさせるため、岸田政権が掲げるのが「資産所得倍増計画」だ。そのための目玉政策の一つとして来年から、投資によって得た利益・配当金を非課税にするNISA（少額投資非課税制度）の年間投資枠を拡大し、非課税期間も永久化するなど、制度を抜本的に拡充する。日本はまだまだ多く、NISAのさらなる強化には金融業者による取り組みの強化も欠かせない。では、日本を代表する金融グループである三菱UFJフィナンシャル・グループ（MUFG）は、こうした現状についてどう考えているのか。同グループのCEO、亀澤宏規氏に話を聞いた。

――政府の「資産所得倍増計画」を、どのように受け止めているのか。  
 亀澤「長らく続いたデフレから脱却しつつある。私たちは大きな環境変化の中におき、お客様の資産を取り巻く期待や不安も様々です。MUFGは資産所得倍増計画に対しては、重要な役割を担っており、自負しており、この環境をチャンスと捉えています。お客様がベストな資産形成を追求できるように、グループ全体で「接点の拡充」と「商品の拡充」を目指して参ります。

――「商品の拡充」とは、具体的にどのようなことを指しているのか。  
 亀澤「新たな生活必需品の値上げが相次ぎ、日常が変わりつつあることが実感しています。一方で、多くは「資産所得倍増計画」と言われる2022年、2023年は人生における資産形成の重要な転点となります。MUFGは各社のホームページの分りやすい情報提供に加えて、金融リテラシー向上のための出張授業やオンラインセミナーなど、金融教育にも積極的に取り組んでいます。お得なキャンペーンなども実施しているため、ぜひNISAのスタートにはMUFGを選んでいただきたいと思っています。



MUFG代表取締役社長  
 グループCEO  
**亀澤宏規**  
 1996年東京大学大学院理学系修士課程を修了後、三菱銀行（現三菱UFJ銀行）に入社。2010年に三菱UFJ銀行・MUFG銀行後援に就任し、以降、本誌企業顧問、米利得本部を歴任。その後、システムデジタル領域でも要職を歴任しグループのDXを推進。2020年より現職。

写真:TOBI 文通井理恵 J.D. / 写真:J.D.の詳細は[japan.jpower.com/awards](http://japan.jpower.com/awards)をご参照ください。 ©2023年の調査  
 問い合わせ先：三菱UFJフィナンシャル・グループ <https://www.muflg.jp/index.html>



2023年11月28日発売号

# ニューズウィーク日本版 - WEBタイアップイメージ

本誌タイアップ記事の転載になります。

This screenshot shows the top portion of a Newsweek Japan article. The header includes the Newsweek logo and navigation links. The main headline reads: "幅広いニーズに応える新NISAの活用提案——MUFGが果たす社会的使命" (Proposal for utilizing the new NISA to respond to a wide range of needs——MUFG's social mission). Below the headline is a photograph of a man in a suit, identified as the CEO of MUFG Asset Management. The article text begins with an introduction to the new NISA framework and MUFG's role in providing investment solutions.

This screenshot displays a list of investment products offered by MUFG, categorized under "各種ニーズに対応、MUFGのNISA口座" (Responding to various needs, MUFG's NISA accounts). The products listed include:

- 三菱UFJ銀行 新着決定 No.1、税しめと信託のいつもの口座
- 三菱UFJ銀行ガンスタンダー証券 幅広い商品ラインアップと専門家のアドバイス
- auカブコム証券 スマホでお得にスピーディーに
- 三菱UFJ信託銀行 資産運用から、相続、不動産までまとめて相談

The text provides a brief overview of each product's features and benefits.

This screenshot shows a featured image of the MUFG CEO and a sidebar section titled "幅広いニーズに広がるNISAの活用提案——MUFGが果たす社会的使命" (Proposal for utilizing the new NISA to respond to a wide range of needs——MUFG's social mission). The sidebar text discusses the importance of NISA for investors and how MUFG's diverse investment options can help them achieve their financial goals. It also mentions the company's commitment to social responsibility.

[https://www.newsweekjapan.jp/stories/business/2023/11/nisamufg\\_2.php](https://www.newsweekjapan.jp/stories/business/2023/11/nisamufg_2.php)

下記特別料金にてご案内させていただきます。

スペース	サイズ (天地×左右)	定価 (グロス)	特別実施料金 (グロス)
表2見開き	270×410	2,800,000	2,240,000
目次対向	270×205	1,400,000	1,120,000
表3	270×205	1,200,000	960,000
表4	252×195	1,800,000	1,440,000

- ※ 事前の原稿審査が必要になります。
- ※ 特別実施料金でのご案内になるため、実績としての扱いにはなりません。
- ※ 枠には限りがありますため、決定優先でのご案内になります。

申込締切： 2月9日 (金)  
校了日： 2月26日 (月)

# Option - WEB転載記事 タイアップブーストプラン

プラットフォームやメディアへの外部配信で、タイアップコンテンツをより効果的に展開することが可能です。

ネットワーク	料金 (グロス)	クリック数 (保証)
	1,000,000	4,500
	1,000,000	5,000
SmartNews	1,000,000	12,000
	1,000,000	15,000

\*金額はすべて、グロスです。広告会社様手数料は、一律20%です。

\*記事公開後、原則5営業日以内の配信開始となります。

\*記載以外のご希望がございましたら、営業担当までお問い合わせください。

\*クリエイティブに動画を使用することも可能です (SmartNewsは除く)。詳しくはお問い合わせください。

## グローバルで活躍するエリート

- 月1回以上は、仕事・出張で海外に行く
- 英語で日常会話が可能
- 雑誌の海外特集に関心がある
- 海外に1年以上住んだことがある

## 情報感度の高いインフルエンサー

- スマホで電子出版を閲覧する
- ニュースポットには積極的に出かける方だ
- 買い物や商品情報を積極的に人に教える

## 所得の高いリッチ層

- 外貨預金の広告に関心がある
- 株式、債権の広告に関心がある
- 注文住宅の広告に関心がある

## こだわりのあるファッションista

- ファッションに関心がある（靴・靴・腕時計・アクセサリ）
- 着るものにはお金をかける方だ
- 化粧品にはお金をかける方だ
- スーツ、コート、靴、鞆はシーズンの新作を購入することが多い
- 高級ブランドの腕時計の広告に関心がある

## 教養のあるインテリ層

- 科学、技術、教育に関心がある
- 介護、福祉に関心がある
- エコ、環境、リサイクルに関心がある
- 環境保護の商品をなるべく買う

NW、東洋経済、日経ビジネス、ダイヤモンド、AERA、クーリエの本誌読者にアンケートを実施。

ニューズウィーク読者が最も関心を持っていた項目を抜粋しています (MAGASCENE2012)



グローバルな視点をもつビジネスマンへ向け、深みのあるジャーナリズムで時代を読み解きます。

本誌



国際ニュース週刊誌『Newsweek』は米国にて1933年に創刊。その日本版として86年に創刊されて以来、『ニュースウィーク日本版』は、世界のニュースを独自の切り口で伝えることで、良質な情報と洞察力ある視点とを提供するメディアとして一目置かれてきました。近年は日本版オリジナルの記事を大幅に増やし、本国版以上に国際色あふれる誌面に。また、中国や韓国などのアジア情勢の分析の深さや鋭さは、第一線で活躍するビジネスパーソンや論壇、政府関係者など政財界の要人から高く評価されています。国内外のメディアが伝える「日本」とは一線を画す独自の視点、そして日本と世界の関係を冷静に見つめる報道姿勢もまた、論壇などで信頼を得ています。テレビや新聞、ネットニュースでは得られない深い追求、多角的な視点。それが、ニュースウィーク日本版のバリューです。

平均発行部数：31,029部（22年7-9月）

別冊



本誌に掲載された特集の増補版だけでなく、完全書下ろし版まで幅広く出版する、1テーマ版。その中でも「0歳からの特集」は科学的な見地からアプローチする育児本として大ヒット。シリーズ累計100万部を突破。

オフィシャルサイト



<http://www.newsweekjapan.jp/>

世界各国版のニュースやWEB独占記事、世相を鋭くとらえるコラムニスト陣による連載も好評。政治・経済・社会など幅広いニュースをグローバルな視点で掘り下げた読み応えのあるコンテンツです。

月間PV： 136,378,751

月間UU： 34,503,112

  
Twitter  
フォロワー数  
456,711

  
Facebook  
フォロワー数  
91,779

  
LINE  
友達数  
790,830

記事配信先



SmartNews



LINE NEWS

NEWS PICKS

Google News

※2023年2月調べ